

職人ではなく世界に飛躍することが出来る クリエイターを育てる新しいタイプの専門学校の運営

- 受賞者 新宮 松比古(リーダー)
- 企業区分 NPO
- 所属企業 特定非営利活動法人博多織技能開発養成学校(福岡県福岡市)



受賞のポイント

伝統的な技能に新しい知性と感性を加えた独創的なものづくりに取り組めるクリエイターを育成。織物技術の習得に留まらず、デザイン、カラーコーディネート、マーケティング、商品開発などを含めた多方面にわたる技能習得を果たしており、世界に飛躍する人材の創出に期待。

開発・実用化の背景、ストーリー

- 770年の伝統ある博多織は、消費者嗜好の変化に伴う呉服業界の衰退に加え、後継者不足のため、活力を失いつつある。これらの課題を解決するためには、図案・意匠・染色・仕掛・製織を含めた総合的な技能者の開発養成が急務と考え、博多織技能開発養成学校の開校に向けて動き出した。
- 開校に際しては、地元経済界及び行政から快く資金面の援助を得られ、懸念していた学生募集も予想以上の反響があった。一方で、スタッフの中に学校運営の経験者はおらず、授業の方法、カリキュラム編成、指導方法などは手探りだった。その様子は、地元放送局の地域発ドラマとしても取り上げられた。

案件概要

- 単なる織物技術の継承ではなく、デザイン・経営・マーケティング・文化など、創造性を重視したカリキュラム構成や様々な分野の第一線で活躍している講師陣のサポート体制等により“クリエイター”を育成。
- 学校運営の目標期限を2006年4月からの10年間と定めており、10年間で博多織の将来を支える人材を100名育てる(毎年約10名の学生を育成)ことが目標。
- 修学の成果として、学生は様々な展覧会等で、上位入賞・入選しており、卒業生は織元への就職のほか、工房や独自事業を立ち上げるなど、様々な分野で活躍。
- 教育機関との連携として、小学校や高等学校に同校で学ぶ学生の姿を納めたビデオ教材の貸出や実技体験の講師派遣、学校見学、高校生のデザインコンクールなども実施。

<独自のカリキュラム構成>



<学校内の機織り風景>

■ 本受賞案件に関する問い合わせ

特定非営利活動法人博多織技能開発養成学校(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目14番12号)
事務局 野口 E-mail: hakataori@forest.ocn.ne.jp TEL: 092-472-5102